

幼児教育コース だより

2016年 8月
No. 4

高知大学教育学部
幼児教育コース 発行

幼児教育コースの2年目が始まりました！

第2期生が入学しました

幼児教育コースに第2期生11名が入学しました。最初は子どもたちにかける声も小さかった1年生も、「あそぼーや」の活動を経て随分たくましくなりました。

幼児教育コース新設記念に植樹されたヒメリンゴの樹もいつのまにやらしっかりした幹や枝を着実に伸ばしています。1年生と2年生合わせて23名の大所帯になった幼児教育コースの学生たちも、この樹のように成長していくことでしょう。

幼児教育実習室前庭の畑に、夏野菜の苗を植えました。



「あそぼーや2(ツー)」がはじまりました

今年度の新たな取り組みである「あそぼーや2」の第1回目の活動が6月1日水曜日に実施されました。幼児教育コース1年生が主として設定遊びをする「あそぼーや」とは異なり、「あそぼーや2」は2年生が活動の主体となり、実習室にあるおもちゃを使って子どもたちが自由に遊ぶ活動です。2年生は約半年ぶりの「あそぼーやのお兄さんお姉さん」でしたが、余裕をもって楽しそうに子どもたちの迎え入れの準備をしていました。

参加してくれたのは7か月児から5歳児までの子どもたちでした。室内では、一人歩き前の子どもたちが、事前に学生が作成した乳児向けのおもちゃに関心を示したり、はいはいをしたり、つかまり立ちをしたり、昼寝をしたりと、思い思いに遊んでいました。

外では砂場が人気で、お山をつくってまわりに水を流したり、型抜きでケーキを作ったり。日差しがさほど強くなく心地よい気温でしたので、子どもを見守るお母さんたちも芝生の上の椅子に座って和やかな表情でした。途中で絵本の読み聞かせがあり、子どもたちは自由な姿勢でお話を聞いていました。

最後はみんなで「ぐうちよきぱー」の手遊びをして、「さようなら」。時間がゆっくりと過ぎていったように感じるのんびりムードの1時間でした。

地域子育て支援広場「あそぼーや」を昨年1年間続けてきた幼児教育コース2年生の成長を感じるひとときでした。



新聞紙プールがお気に入り！お姉さんとたくさん遊んだよ。



お魚、上手に釣れたかな？



「あそぼーや」1学期の活動紹介

第1回 5月27日(金)『はり絵をつくろう!』

今回のテーマは「動物園」でした。赤色や水色など色とりどりの画用紙にウサギ、パンダ、ゾウ、キリン、シマウマ、ライオンなどが描かれており、その1枚の絵に折り紙やフェルトや綿など、好きな素材を選んで子どもたちが糊で貼り付けていきます。また、その周りに色ペンで好きな模様を描いたりして、30分ほどかけて大きな作品を仕上げました。

出来上がった作品および、「あそぼーや」の活動の様子を撮った写真は、教育学部1号館の玄関に展示され、教員や学生に「あそぼーや」の楽しさを感じてもらえたようです。



ボクの集中力に、お母さんもビックリ!

第2回 6月10日(金)『絵本で遊ぼう!』

21組の参加者の皆さんと共に、手遊び「かみなりどんがやってきた」で始まった『絵本で遊ぼう!』。絵本「せんたくかあちゃん」では、空から雷様が落ちてきました・・・いえいえ、落ちてくるはずの雷様役の学生が正門へ子どもたちをお迎えに行っていて、なかなか登場しません。というアクシデントもありましたが、何事もなかったかのようにストーリーは進みました。

その後、「5つのメロンパン」の手遊びとパネルシアターを見たり、「ころちゃんだんごむし」の絵本の後は、みんなでダンゴムシ体操を踊りました。

年齢の低い子どもたちは1つ1つの場面を楽しみ、年長の子どもたちは場面間のつながりも理解しながら一緒に歌ったり踊ったり、楽しんでくれたようです。



動物たちがメロンパンを買いに来ました。数が足りるかな?

第3回 6月24日(金)『身近な素材で遊ぼう!』

今回の「あそぼーや」は、会場をいつもの幼児教育コース実習室から北体育館に移して実施しました。子どもたちと保護者、計16組の参加者を幼児教育コース1年生が出迎えました。

テーマは「身近な素材で遊ぼう」でした。身近な素材として、段ボール、新聞紙、ビニールのかさ袋など、毎日の生活の中で、目にしたり手にしたりするものを使った遊びを学生たちが考えました。子どもたちは、小さく刻んだ新聞紙を入れたビニールプールの中に入って、その中から段ボールで作った魚を探すことに夢中でした。アンパンマンやウサギの福笑いをして楽しんだり、かごに同じ色のボールを入れる遊びも人気でした。

ビニールのかさ袋をふくらませて作ったロケットを飛ばしたり、大きな積木を乗り越え、段ボールのトンネルをくぐっていくアスレチックに挑戦したり、体育館という広いスペースを活かしたダイナミックな遊びも子どもたちは楽しめたようでした。



お口はココで、目はココでいいのかな?

第4回 7月15日(金)『粘土場で遊ぼう!』

はじめは小さなお団子やへびを作っていた子どもたちでしたが、自分の胸ほどの高さに積まれた粘土の塊の上から飛び降りている他のお友達を見ているうちに遊びが少しずつダイナミックになっていき、後半になると17名の参加者が入り乱れての粘土場遊びになりました。

粘土を「踏む」「落とす」「自分の背の高さほどに積み上げる」「蹴る」「広く伸ばす」といった、粘土のもつ性質を身体で感じ、約1トンの粘土でしか体験できないことを楽しんでいました。



こんなに大きな粘土のかたまり、すごいな～。

第5回 7月29日(金)『音楽遊びをしよう!』

「実際に子どもたちに、歌ったり、踊ったり、音を鳴らしたりを体験してほしい」という想いで、学生達が準備、練習を重ねた「夏」をテーマとした今回の「あそぼーや」には、28組のみなさんが参加してくださいました。

「ミックスジュース」の手遊びから始まり、「バスごっこ」の歌で海へ出発! 海にはエビさん、カニさんがお待ちかねで、みんなで「エビカニクス」を踊りました。「かき氷」の手遊びのあとには、手作り楽器のマラカス、笛を鳴らして、大きな花火を打ち上げ、絵本を参考に作成したブラックシアター「おばけなんてないさ」に、子どもたちはくぎ付けでした。みんなでうたった歌や手遊びを、子ども達のご家庭に帰ってからも口ずさんでくれたら、とても嬉しいです。



♪ミックスジュースの
出来上がり、カンパニー!

授業紹介

『子どもの保健 I』 主担当:松岡真里(高知大学医学部看護学科)

2年次1学期木曜日3, 4限は、キャンパスを移動して医学部に出向き、看護学科の学生と共に、子どもの成長発達、健康、疾患等について学びました。グループセッションで看護の学生と意見を交換し合うことで、自分たちと看護の学生との子ども観の違いに驚いたこともありました。

また、乳幼児の成長発達の特徴がわかりやすい映像を見たり、乳児の発達に合わせた離乳食を試食したりと、医学や看護学的な専門用語にも触れながら、大変学びの多い授業となりました。

『社会的養護』 担当:三ツ石行宏

虐待などの理由で家庭での養育が難しい子どもには、家庭に代わる社会的な仕組みが必要となります。本科目は主として、その社会的な仕組みについて、歴史・制度など様々な点から学ぶものです。具体的には、乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設・児童自立支援施設などといった施設養護、および里親・ファミリーホームといった家庭養護について学びます。

幼児教育コース2年生は、今年度(2016年度)の2月から3月にかけて保育所実習および施設実習を行います。施設実習の「施設」とは、上記の乳児院・児童養護施設などの児童福祉施設(保育所を除く)を意味します。幼児教育コースの学生にとっては、「施設」で勤務する保育士の具体的な役割など、初めて本格的に「施設」について学ぶ科目となります。

『保育実習指導 I』 主担当:川俣美砂子・三ツ石行宏

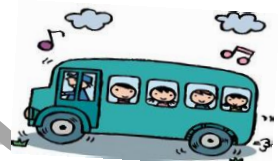
本科目は「保育実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、保育実習における学習内容・課題を明確化するとともに、保育実習において得た体験を深化させる」ことを目的としています。2年次終わりの2月に実施される保育実習 I (保育所)、3月に実施される保育実習 I (施設)に向けて、9月に事前指導、2月に直前指導等が行われます。実習への意欲や期待も高まっていきます。



『子どもの保健 I』
岡豊キャンパスにて、医学部看護学科2年生と合同授業



『社会的養護』授業で、児童福祉施設
について真剣に学んでいる様子



「あそぼーや」、「保育相談」にいらっしやいませんか？

❁ あそぼーや

高知大学教育学部の地域子育て支援広場「あそぼーや」は、以下の日程で皆さんをお待ちしています。大学生のお姉さん・お兄さんと一緒に、遊びましょう！

No	活動日	主な活動	対象年齢	定員	申込期間
1	10月14日(金)	粘土場で遊ぼう！—からだ全体を使って、たっぷりの粘土で遊びましょう。—	3歳以上	20名位	10/3～10/11
2	11月11日(金)	おもちゃをつくろう！—はったりくっつけたり…どんなものができるかな？—	3歳以上		10/31～11/7
3	12月2日(金)	身近な素材で遊ぼう！—ダンボールや新聞紙で作ったり、遊んだり…お友達や大学生のお姉さん・お兄さんと一緒に遊びましょう。—	未就学児		11/21～11/28
4	12月16日(金)	音楽で遊ぼう！—手遊び、歌遊び、楽器遊び、いろいろな音楽遊びをしてみよう—	未就学児		12/5～12/12
5	1月27日(金)	絵本で遊ぼう！—巨大絵本や紙芝居？どんなお話がはじまるかな？—	未就学児		1/16～1/23

・参加方法：準備の都合上、上表の申込期間中に以下の(1)～(5)をご記入のうえ、**メールで asoboya@kochi-u.ac.jpまで、お申し込みください。**参加希望のメールが届きましたら、こちらから返信をいたします。申し込み最終日翌日が過ぎても返信が届かない場合は、ご面倒ですが下の問い合わせ先へご連絡ください。活動場所の広さの都合上、定員を設けております。ご了承ください。



【メールへの記入事項】

(1)タイトル(件名)：あそぼーや参加希望 (2)参加希望日 (3)お子様について：お名前、年齢、性別 (4)保護者の方について：お名前、住所、電話番号 (5)大学広報使用のための写真掲載の可または不可

- ・対象：高知市近郊在住の未就学児とその保護者(お子様だけの参加はご遠慮ください)
- ・時間：いずれも15:00～16:00
- ・集合場所：高知大学教育学部1号館1階幼児教育コース実習室1
(集合後、各活動の教室へ移動する場合があります)
- ・持ち物：水分補給のための飲み物、お子様の着替え・おむつ等必要なもの
- ・服装：お子様も保護者の方も、汚れてもよい服装でお越しください。
特にNo. 1, 2の活動は着替えが必要です。
- ・参加費：年間保険代等300円(年度初参加時のみ1回徴収)
- ・問い合わせ：「あそぼーや」についてのお問い合わせは、
asoboya@kochi-u.ac.jpまでお願いいたします。



❁ あそぼーや2(ツ一)

今年度1学期から、新たに「あそぼーや2」を開始しました。学生が遊びを企画する「あそぼーや」と異なり、「あそぼーや2」は、お子様が幼児教育コース実習室にあるおもちゃを使って自由に遊んだり、昨年度あそぼーやを担当した大学生と一緒に遊んだりします。

「あそぼーや2」に参加される場合、申し込みは必要ありません。

開催日程：10月26日(水)と11月30日(水)どちらも15:00～16:00

対象：未就学児とその保護者

ご参加をお待ちしております！

❁ 保育相談について

「あそぼーや」実施日に、幼児教育コース教員が子育ての悩み等についてご相談をお受けする「保育相談」を実施します。お子様は、「あそぼーや」の活動に参加し、別室で保護者の方のご相談をお受けすることもできます。

相談を希望される方は「あそぼーや」の活動日の7日前までに、(1)タイトル(件名)：保育相談(2)希望する相談日<①第1希望日、②第2希望日>(3)保護者のお名前(4)お子様のお名前、年齢、性別(5)相談の簡単な内容を下記のアドレスへメールでお知らせください。希望者が多い場合には、他の「あそぼーや」の日程を提案させていただきます。なお、「あそぼーや」に来ていただいた際に予約をすることもできます。

連絡先(E-Mail)：asoboya@kochi-u.ac.jp

幼児教育コースだよりは、高知大学教育学部のホームページ
(<http://www.kochi-u.ac.jp/gakubu/kyoikugaku/>)でもご覧いただけます。

発行元：高知大学 教育学部幼児教育コース
〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1
TEL 088-844-8368